

三保海岸に自生する海浜植物の保全を目的としたマリンガーデン

東海大学海洋学部環境社会学科 廣瀬湧大 吉村徳朗

海浜植物とは

砂浜をはじめとした海岸に生息する種子植物であり、花期になると砂浜を彩る重要な役割を果たす。



ハマダイコン 撮影者(吉村) 三保海岸(2020/3/24)



ハマエンドウ 撮影者(吉村) 三保海岸(2020/11/8)

海浜植物の特性

- 砂浜を綺麗な花で彩る
- 葉や茎があることで地表面の風速を下げる → 砂の移動を防ぐ
- 根を深く生やす → 地盤を強化し、砂浜の侵食を防ぐ



ハマゴウの群落 撮影者(吉村) 三保海岸(2020/7/2)



テリハノイバラの根 撮影者(吉村) 大学内バックヤード(2020/12/9)

研究の背景

海浜植物は現在、台風や海岸侵食などの影響により生息域・種数が減少傾向にある。これは三保半島でも同様の被害がみられる。当初は、清水三保海浜公園への移植を考えていたが、新型コロナウイルスなどの諸要因により進めることが難しくなり、身近なところで楽しく育てることが可能なマリンガーデンの作成に切り替えた。

研究の目的

大学のバックヤードで育てた海浜植物をマリンガーデン作成のなかで楽しく保全し、最終的に清水三保海浜公園の植栽予定地に反映させることを目的とする。その過程で、作成したマリンガーデンを地域の観光施設に展示し、地域住民や観光客に海浜植物が置かれている現状を理解してもらい、海浜植物の注目度を高める。

研究対象の海浜植物

- ハマゴウ
- ハマヒルガオ
- ハマダイコン
- ハマエンドウ
- テリハノイバラ
- ハマナデンコ



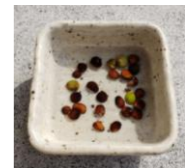
ハマゴウ 撮影者(吉村) 三保海岸(2020/6/15)



テリハノイバラ 撮影者(吉村) 三保海岸(2020/5/30)

海浜植物の繁殖方法

- 実生繁殖
種子で増やす
- 栄養繁殖
栄養器官の一部から増やす



ハマヒルガオの種子 撮影者(廣瀬) 廣瀬宅(2020/5/14)



ハマゴウの新芽 撮影者(廣瀬) 廣瀬宅(2020/7/27)



<https://horti.jp/7112>



テリハノイバラの取り木 撮影者(吉村) 吉村宅(2020/6/21)

テリハノイバラの繁殖 1

繁殖活動では、テリハノイバラを実際に親木の幹に傷をつけ、発根させるといった取り木を行った。



親木を傷つける様子 撮影者(吉村) 大学内バックヤード(2020/11/12)

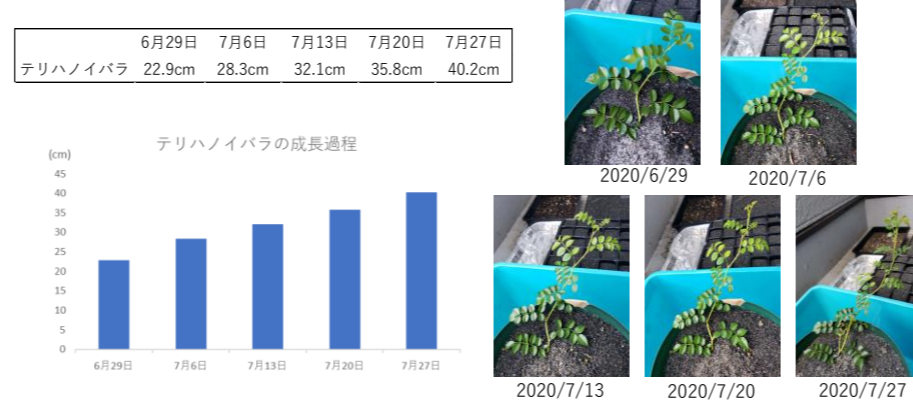


取り木した状態 撮影者(吉村) 吉村宅(2020/6/21)



取り木の発根確認 撮影者(吉村) 吉村宅(2020/7/27)

テリハノイバラの繁殖 2



テリハノイバラの繁殖 3

実際にどういった形で繁殖させているのかを庭を通して、理解してもらうために、マリンガーデンの作成のなかで取り木をした状態で、庭に移植した。



テリハノイバラの移植 撮影者(廣瀬) みほるべ前(2020/11/13)

テリハノイバラの繁殖 4

育てた海浜植物を庭に移植する際、スリット鉢であれば壊すことができるため、移植しやすく、庭に鉢ごと植えた際にも根が拡大成長する前段階で、スリット鉢を破壊して根群の発達を促すことができる。



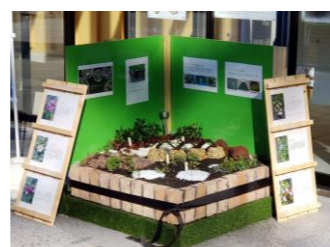
テリハノイバラの移植 撮影者(廣瀬) 大学内バックヤード(2020/12/9)



テリハノイバラの移植 撮影者(廣瀬) 大学内バックヤード(2020/12/9)

マリンガーデンの作成

海浜植物に興味を持ってもらうために、海浜植物を用いた箱庭や鉢づくりを行い、展示活動を行った。



マリンガーデン(箱庭) 撮影者(吉村) みほるべ前(2020/11/14)



マリンガーデン(鉢) 撮影者(吉村) みほるべ前(2020/12/19)

箱庭のコンセプト

- 低予算
- 素人でも作れる容易さ
- 海の要素を取り入れる
- 移動式
- 見る人を楽しませる



移動式箱庭 撮影者(吉村) みほるべ前(2020/11/21)

箱庭のデザイン

中国庭園の伝統技術である「舗地」を再現し、箱庭の一部に取り入れた。そこで、石を使って富士山を作成し、テリハノイバラを松に見立て三保松原を表現した。



<http://www.easianmarket.com/suzhou/suzhou60.html>



石を固めて作成した富士山 撮影者(吉村) 吉村宅(2020/10/7)



三保松原の再現 撮影者(吉村) 大学内バックヤード(2020/10/28)

鉢のコンセプト

メインコンセプト「クリスマス」

12月での活動ということもあり、海浜植物をクリスマスツリーに見立てて作成した。



クリスマスマリンポット 撮影者(吉村) みほるべ前(2020/12/18)

鉢のデザイン

クリスマスらしさを出すために、レッドロックを用いたロックガーデンや寒水石(白砂)を使用した雪の再現をし、クリスマスカラーである赤・白・緑に岩、砂、植物を当てはめる。



レッドロック 撮影者(廣瀬) 大学内バックヤード(2020/12/8)



寒水石(白砂) 撮影者(廣瀬) 竹内研究室(2020/11/10)



鉢の表面 撮影者(吉村) みほるべ前(2020/12/19)

箱庭と鉢の展示を踏まえて

海浜植物の実用性について聞かれることが多かった。

→ 展示とともに販売をしてみるのも興味深い(育て方のマニュアルを添えて)

メディアでの取り上げ

2020年11月19日、中日新聞に掲載された。

→ 海浜植物を知ってもらおうきっかけに



実際に取り上げられた記事 撮影者(廣瀬) 廣瀬宅(2020/11/26)

今後の展望

イベントなどを行い地域を巻き込むような活動を行うことで、海浜植物の注目度をより高める。
→ 地域の方々に海浜植物の価値が浸透し、活動の協力を得られる



海浜植物それぞれの最適な繁殖方法を見出す